

段ボールコンポスト を作ってみよう



～必要な資材～

- ・コンポスト用段ボール箱、1箱（横長の厚いミカン箱などがよい）
- ・中敷き用段ボール、1枚（底を補強するために使用します）
- ・新聞紙（シュレッダー1掴み分）
- ・ピートモス、くん炭（ホームセンター等で各500円程で販売）
- ・不要になった大きめのTシャツ（防虫カバーとして使用します）
- ・ガムテープ（できれば紙製）、スコップ、はさみ、ホッチキス

毎日生ごみを投入できますが、本日から開始すると、**2カ月後が生ごみの投入終了時期**です。その後に、段ボールコンポストの中身を**1ヶ月熟成**させると**開始から3カ月後には堆肥が完成**します。

（段ボールコンポストで完成した堆肥は、市販の土：堆肥 = 3：1の割合で混ぜ、使用してください）

設置する場所は風通しのよいベランダや、玄関などがおすすめです。
（冬場は気温が低く微生物が活発に働けないため、**夏場の実施を推奨**します）

段ボールコンポストに入れられるもの（2カ月間毎日200g程投入可）

- ・ サラダ油（是非入れてください。お肉を焼いた後に出る油も OK）
- ・ 炭水化物（パン・ごはん・うどん など）
- ・ 納豆
- ・ 茶殻、コーヒーのかす
- ・ 野菜などの切りくず（水切りは不要）
- ・ ヨーグルト
- ・ 魚の小骨
- ・ お肉（カビが少し生えてても OK）
- ・ 柑橘類以外の果物（りんご・バナナ（の皮）など）

毎日お茶碗1杯分
(200g)ぐらい生ごみ
を入れられるよ！



段ボールコンポストに入れるのは避けたいもの

- ・ 貝やスペアリブなどの太い骨（分解するのに時間がかかります）
- ・ 卵の殻（投入しても悪影響はありませんが、分解されにくいです）
- ・ たまねぎ、タケノコの皮（抗菌作用があったり、繊維質が多いもの）
- ・ とうもろこしの芯
- ・ 味噌汁やラーメンの汁（塩分が高いもの。堆肥に塩分が残るので×）
- ・ みかん、レモンなどの柑橘類（酸性が強いもの）
- ・ 漬け物（水で洗って塩気を切れば OK）
- ・ 乾物（クッキーやカンパンなど水分がないもの。水で湿らせた可）

注意事項

・ 段ボールコンポストは、微生物の働きで生ごみを分解します。微生物が生きていくためには、**空気と水分が必要**です。毎日1回は空気を取り込むためにかき混ぜ、土壌は、手で強く握ってかたまりができるくらい水分の調整をしてください。（毎日生ごみを投入すれば水差しは不要）

・ 酸性や塩分が強いと段ボールコンポストの発酵はうまく進みません。投入する生ごみには注意しましょう。また、投入する生ごみは、ある程度の**水分が含まれ、かつ細かいものほど分解されやすい**です。

・ 段ボールコンポストは生ごみ投入終了後、**1ヶ月熟成させる期間が必要**です。そのまま堆肥として使うと、植物の根が腐る恐れがあります。なお、熟成後は**市販の土と堆肥を約3：1の割合**で混ぜ、園芸に使用できます。

～段ボールコンポストをつくってみよう～

- ① なるべく厚めの段ボール箱（ミカン箱等）を用意します。（横長がよい）



- ② 底を補強するため、紙テープを底の周囲、及びクロスする形に貼ります。（水分・空気調節のため貼り過ぎは×）



- ③ 底に破いた新聞紙を敷き、その上に別の段ボールで落としブタを作り、底を二重にします。（底の補強）



新聞紙は底が8割程見えなくなる程の量(少なめで)
※段ボールの容量の8割ではありません。

- ④ 基材（ココピート：くん炭）を投入します。3：2ぐらいの割合で混ぜるとよいです。ホームセンターで500円程度で販売しています。（ピートモスも可）



- ⑤ 次に防虫カバーをつくります。不用になった大きめのTシャツの袖部分と襟部分を縫います。（面倒な方は、ホッチキス止めでOKです。）



- ⑥ 防虫カバーを被せ、完成です。あとは、段ボールの下に、レンガ等で隙間を作り、雨がかわらず、風通しのよい場所に設置してください。（ベランダなど）



☆約2カ月間、毎日生ごみを200g程投入できます。

お問合せ 稲沢市 資源対策課（稲沢市環境センター内）
電話 0587-36-0135 FAX 0587-36-3709

～段ボールコンポストの注意事項～

1. 段ボールコンポストの特徴は？

→ **段ボールは外と空気・水分・温度の調節ができる**ので、生ごみの好気性の発酵（微生物による空気を使つての発酵）が特徴です。また材料が安価で調達できます。

2. いつから生ごみをいれていいの？どれくらいの期間使えるの？

→ 段ボールコンポストを作って水を入れてかき混ぜ、土壌が湿ってきたら翌日から**毎日200g程**の生ごみを**約2カ月間**投入できます。

3. どんな生ごみを入れるといいの？入れてはいけないものはあるの？

→◎ **使用済みのサラダ油や米ぬか、納豆**を入れると、発酵が進みます。
→△ 貝や、酸性が強いもの（柑橘類・漬け物など）は分解されません。

4. 他にも注意事項はある？

→生ごみを投入しない日も**毎日満遍なくかき混ぜる**のが段ボールコンポスト成功の秘訣です。また、投入する生ごみの水分は切らずに、そのまま入れられます。細かいサイズの生ごみ（刻んだもの）は分解が進みやすいです。（かたまりは×）

5. 白いカビが生えてきちゃった…、とても段ボールが熱いし…これって失敗？

→うまく発酵が進んでいる証拠です。その調子で生ごみを投入してください。

6. カビが生えた食品や腐ったお肉、納豆、サラダ油、魚の骨なども投入できるの？

→投入できます。**細かいカロリーが高い食品**（油など）は発酵がより進みます。

7. 虫が湧いてしまったんだけど…どうすればいい？

→土壌をビニール袋に入れて密封し、日光に当て死滅させるともう一度使えます。

8. 生ごみの投入はいつがやめどき？

→生ごみを入れても分解が進まず、**土壌が湿ってべたつく感じが続く**と、投入終了のサインです。（裏面で作成した段ボールコンポストの大きさだと**使用できる期間は約2カ月間**です。）生ごみの投入をやめて、週に1回程度水分を補給させ、1カ月間毎日かき混ぜ続けると堆肥の完成です。園芸用の土に混ぜて、植物の育成にお使いください。（土：段ボールコンポスト堆肥は、**おおよそ3：1の割合**で）

～段ボールコンポスト 職員の記録①～

①段ボールコンポストを開始しました。最初に納豆を投入しました。納豆は、発酵をうまく進める効果があるようです。



②うどんを投入しました。スコップでうどんを細かく刻み、かき混ぜると翌日には、うどんは無くなっていました。



③生の豚肉を投入しました。生肉のため、投入後臭いが発生しないか心配でしたが、強い臭いはありませんでした。



④豚肉を投入した翌日、白いカビが発生しました。失敗したかと思いましたが、むしろ発酵が進んでいる証拠だそうです。



⑤200ml程のサラダ油を投入しました。段ボールの底からこぼれでないか心配でしたが、こぼれることはなかったです。



⑥サラダ油投入2日後、土壌を手でさわってみました。温度が非常に高く、体温以上の温度があるように感じました。



職員作成:いなツピーの段ボールコンポスト

～段ボールコンポスト 職員の記録②～

⑦投入開始から2カ月間経過後、最初の状態と比較しました。微生物が基材を分解するため土壌のかさが減っています。



開始時



2ヶ月経過

⑧冷凍そばを投入しました。翌日確認すると、全く分解されていませんでした。ある程度の温度が必要なようです。



⑨変色していたうどんを投入しました。段ボールコンポストは腐った食材も、カビが生えた食材も分解できます。



⑩クッキーを投入しました。クッキーは水分が少ないため分解に数日かかりました。発酵には水分が必要のようです。



⑪生ごみ投入をやめ、週1回の水分補給と毎日のかき混ぜを続けました。繊維質は残りやすいようです。(品質に問題無し)



⑫生ごみの投入を終え1ヶ月経過後、市販の土と堆肥を3：1で混ぜ、ジャガイモを育てることとしました。

